

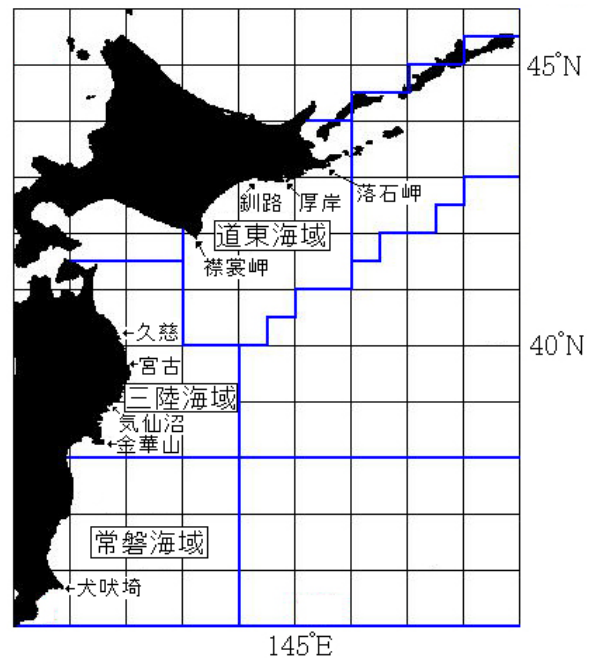
平成27年度 第8回 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し一般社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた結果 －

今後の見通し(2015年11月下旬～12月下旬)のポイント

来遊量

- ・道東海域は終漁。
- ・三陸海域では、来遊量は減少し、11月下旬は低位水準となり、12月上旬で終漁となる。
- ・常磐海域では、来遊量は減少し、11月下旬以降は低位水準となる。



海域の名称

問い合わせ先

一般社団法人漁業情報サービスセンター 漁海況部
担当：渡邊、松尾
電話：03-5547-6889、ファックス：03-5547-6881
当資料のホームページ掲載先URL
<http://www.jafic.or.jp/gyokaikyo/>

国立研究開発法人水産総合研究センター
当資料のホームページ掲載先URL
<http://abchan.job.affrc.go.jp/>

平成27年度 第8回 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

1. 今後の見通し

予測期間：2015年11月下旬から12月下旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域、常磐海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

1) 道東海域

(1) 来遊量

来遊量は少なく、終漁。

(2) 漁場

漁場は形成されない。

2) 三陸海域

(1) 来遊量

11月下旬は低位水準で減少する。12月上旬は、断続的となり、終漁となる。

(2) 漁場

11月下旬～12月上旬は、三陸南部が漁場となる。12月中旬～下旬は、漁場は形成されない。

3) 常磐海域


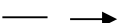



(1) 来遊量

来遊量は減少し、11月下旬～12月上旬は低位水準となる。12月中旬は断続的となり、終漁となる。

(2) 漁場

11月下旬～12月上旬は常磐北部～南部、12月中旬は常磐南部が漁場となる。12月下旬は、漁場は形成されない。

2. 予測の概要

海 域		11月下旬	12月上旬	12月中旬	12月下旬
道東海域	来遊量				
	動向				
	漁 場				
三陸海域	来遊量				
	動向	低位減少	断続的		
	漁 場	南部	南部		
常磐海域	来遊量				
	動向	低位減少	低位減少	断続的	
	漁 場	北部～南部	北部～南部	南部	

3. 漁況の経過概要（11月上旬）

1) 道東海域

(1) 来遊量

来遊量は少なく、漁場は形成されなかった。道東海域よりも南側（三陸海域よりも東側）における来遊量の水準は、前旬を上回った。日別CPUE（1網当たりの漁獲量）から判断すると、道東海域よりも南側における来遊量は、期半ばに増加した。

(2) 漁場

道東海域では、漁場は形成されなかった。

道東海域よりも南側の落石東南東～南東沖の210～280海里付近（9～15℃）では、連日大型船2～45隻程度と小型船数隻～10隻程度操業した。大型船は1～135トン、小型船は1～30トン漁獲した。

(3) 魚体

道東海域よりも南側の落石東南東～南東沖の210～280海里付近では、体長29～30cmモードの大型魚主体で、中型以下の魚が1～3割前後混じった。

2) 三陸海域

(1) 来遊量

資源量指数から判断した三陸海域における来遊量の水準は、前旬および前年を下回る下位水準であった。日別CPUE（1網当たりの漁獲量）から判断すると、三陸海域は、期前半に来遊量が減少したが、期後半に増加した。

(2) 漁場

三陸海域では、気仙沼～金華山沖が漁場となった。気仙沼東～金華山東沖の5～10海里付近（15～16℃）では、3日夜までと、8日夜以降、大型船と小型船が数隻操業した。大型船で1～12トン、小型船で数トン～15トン程度漁獲した。

(3) 魚体

三陸海域では、体長29～30cmモードの大型魚主体であった。

3) 常磐海域

(1) 来遊量

資源量指数から判断した常磐海域における来遊量の水準は、前旬を上回ったが、前年並の低位水準であった。日別CPUE（1網当たりの漁獲量）から判断すると、常磐海域は期半ばに来遊量が増加したが、その後減少した。

(2) 漁場

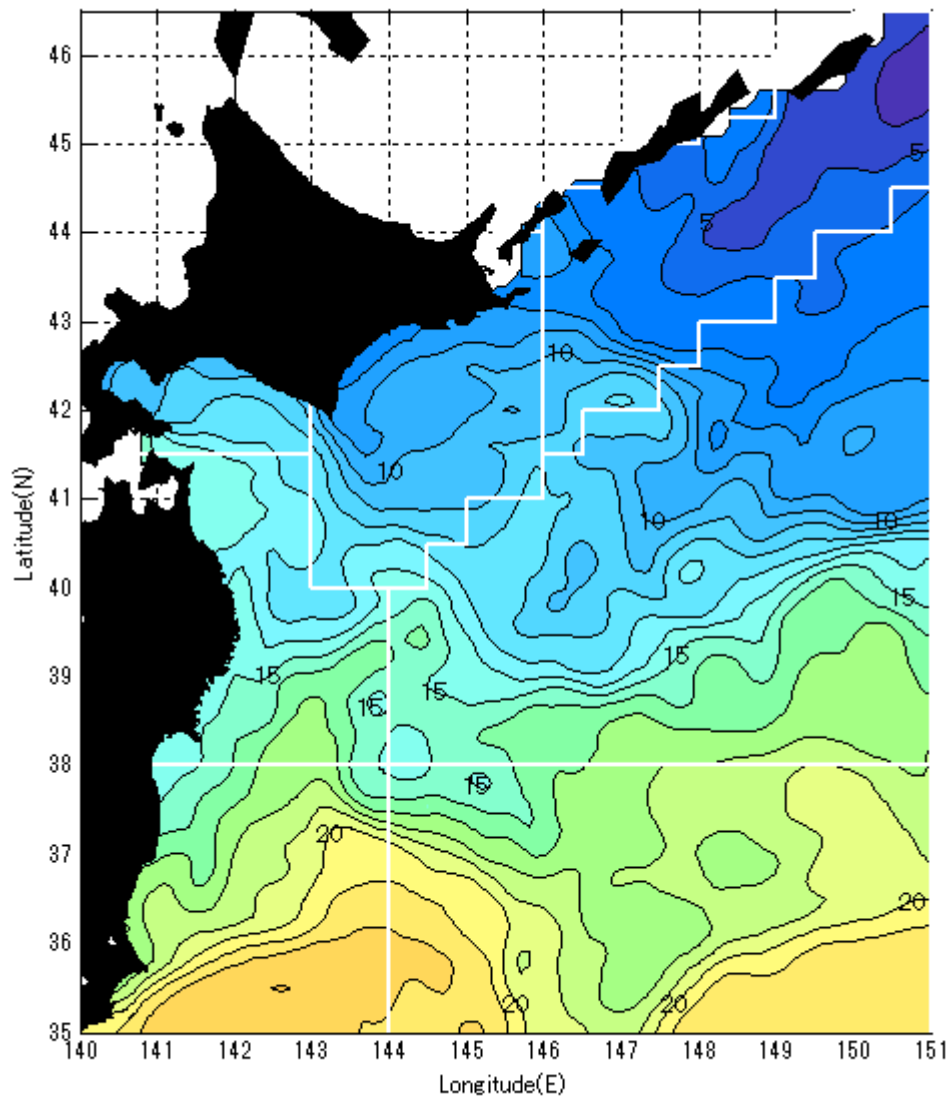
常磐海域では、金華山～那珂湊沖が漁場となった。金華山南30海里～那珂湊南東20海里付近（16～21℃）では、大型船数隻と小型船が多数操業した。大型船で1～40トン、小型船で数トン～20トン程度漁獲した。

(3) 魚体

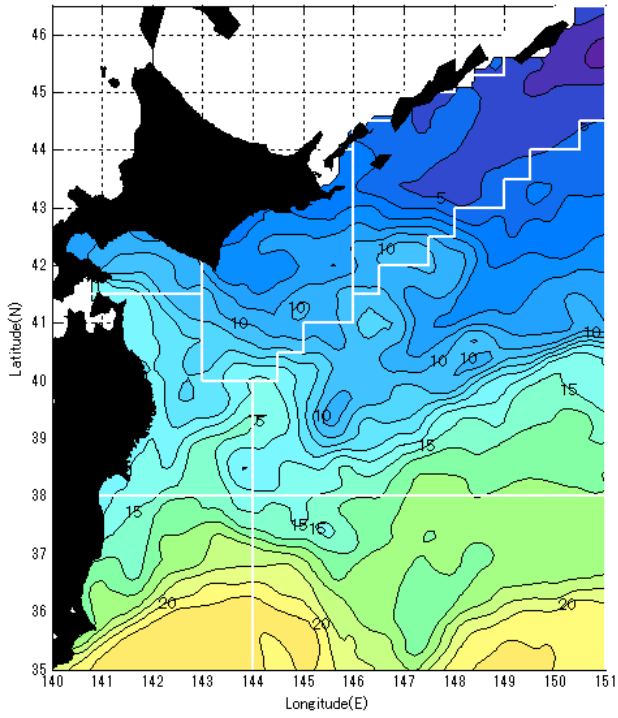
常磐海域では、体長29～30cmモードの大型魚主体であったが、体長26cmモードの中型魚が5割程度混じる群もあった。

4. 予測水温分布図

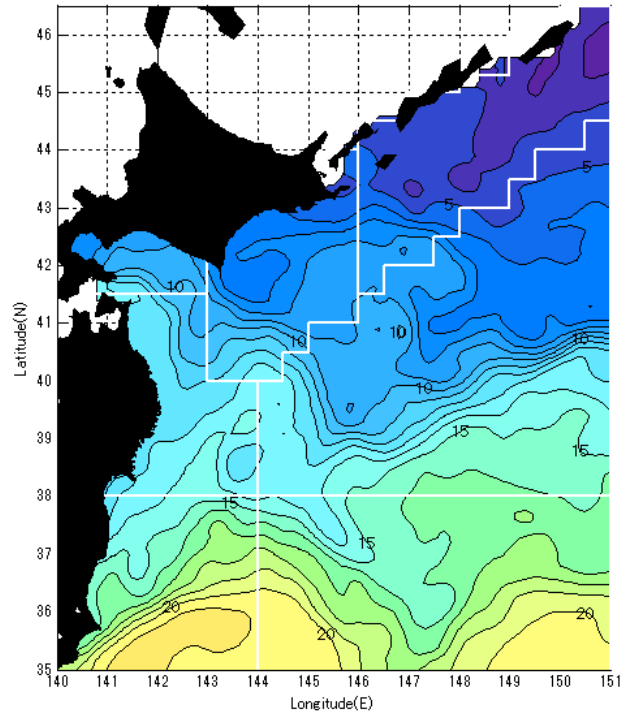
11月下旬予測表面水温分布図



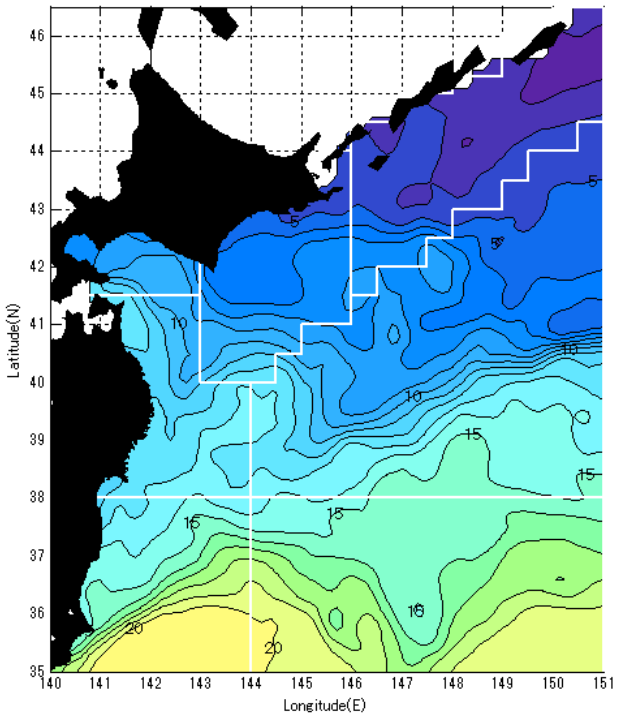
12月上旬予測表面水温分布図



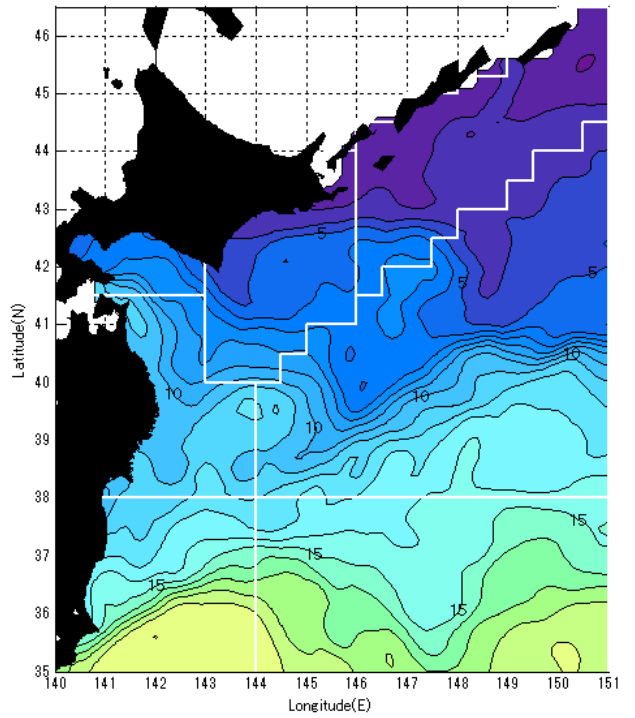
12月中旬予測表面水温分布図



12月下旬予測表面水温分布図



1月上旬予測表面水温分布図



参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産試験場</p>	<p>茨城県水産試験場</p> <p>千葉県水産総合研究センター</p> <p>国立研究開発法人 水産総合研究センター 東北区水産研究所</p> <p>(取りまとめ機関) 一般社団法人 漁業情報サービスセンター</p>
---	---